

## 👑 全国大会出場おめでとう 👑



◆**野球**  
兵庫県立淡路三原高等学校  
野球部OB会  
マスターズ甲子園2025  
(第22回大会) (11月8日、  
9日・阪神甲子園球場) に出  
場しました。

◆**修斗・柔術**  
おみな  
長手臣登さん  
(トリニティサズ・広田小4年)  
長手さんは、第9回全日本  
キッズ修斗選手権大会(8月  
17日・神戸市・SUJIF  
WORLD JIU-JIT  
SUCHAMPIONSHI  
P2025 (9月20日・千葉  
県) に出場し、いずれも優勝  
の成績を収めました。

◆**ソフトテニス**  
(左から)  
平野陽大さん(辰美小6年)  
田浦潤人さん(湊小6年)  
(淡路ジュニアソフトテニスクラブ)  
平野さんと田浦さんは、J  
OCジュニアオリンピックカップ  
・第32回全日本ジュニアソ  
フトテニス選手権大会(10月  
18日・19日・広島県) に出場  
しました。



児童の声を形にするワークショップ

## 旧倭文中学校の跡地に遊び場を

市では、令和3年度に閉校した旧倭文中学校の跡地を利用し、新たに屋内遊び場の整備を検討しています。この取り組みは、市民の皆さんと一緒に創り上げていくことを目指しており、そのために定期的なワークショップの開催を予定しています。

その一環として、10月14日に倭文小学校の6年生を対象にワークショップを開催しました。参加した10人の児童たちはまず、旧倭文中学校の跡地を実際に見学し、その後グループに分かれて意見交換を行いました。児童たちは自分の考えを活発に出し合い、互いの意見を聞いて発表するなど、積極的に取り組んでいました。

ワークショップは終始和やかな雰囲気が進み、子どもたちからは「トランポリンやアスレチックがあったら楽しい」「この施設を活用して、さまざまな体験イベントを開催してほしい」など、具体的に生き生きとしたアイデアが多く寄せられました。また、「みんなで協力して意見を出し合うのが楽しかった」「自分のアイデアを発表できてよかった」といった感想も聞かれました。

児童らは、出し合った意見を11月30日に開催された第2回市民ワークショップにて発表しました。

今後も市と地域の皆さんが一体となって考え、地域の声を大切にしながら、誰もが楽しめる屋内遊び場の実現に向けて取り組んでまいります。

生徒たちに贈る、夢を育むメッセージ

## 「夢プロジェクト」開催

小中学生に夢を持って、豊かな生活を送れるように、著名な文化人やスポーツ選手らを講師として招く「夢プロジェクト」。

10月15日、広田中学校にボーカルグループ「クーリーハイハーモニー」の4人が訪れました。力強く感情豊かな美しいハーモニーで5曲を披露し、生徒らを魅了しました。

メンバーは、「30年間、変わらない仲間とともに活動してきました。友達や周りに支えられていることに感謝し、ぜひ夢に向かって努力してほしい」と生徒らに呼びかけました。



慶野松原で自然を感じよう

## マツとキノコのフィールドワーク

11月8日、「マツとキノコ」をテーマに、秋の慶野松原を散策するイベントが開催され、親子連れを中心に49人が参加しました。

参加者たちは、日頃から松原の保全に尽力する「慶野松原根上がり隊」や森の博士とともに歩きながら、大切に手入れされてきた美しい松並木と、そこに自生する多彩なキノコについて学びました。

## 大会結果 (敬称略)

★数字が順位。関係分のみ掲載。

第43回南あわじ市少年野球大会

(9月21日・阿万スポーツセンター)

①西淡ジュニアスターズ

②NANDAN

第39回船越杯南あわじ市

家庭婦人バレーボール大会

(9月28日・松帆小学校)

①ブルーマリン

②Copain

第32回兵庫県身体障害者  
グラウンドゴルフ大会

(10月21日・姫路みなとドーム)

団体の部 ①南あわじ市身体障

害者福祉協会南淡支部

個人の部 ③山本和民(南あわじ

市身体障害者福祉協会南淡支部)

第11回オータムカップペタン

ク大会(10月26日・三原健康広場)

①ターザン(高川欣士・高川和

江) ②三原えびすB(喜田篤實・

榎本行市・上田龍司) ③三原え

びすA(社家薫・社家寛子)